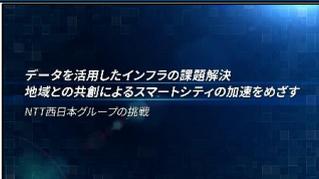
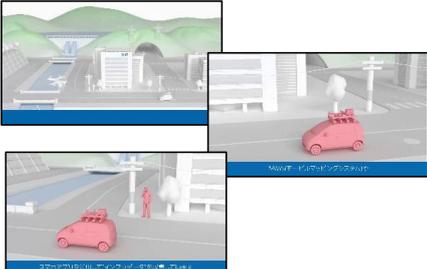
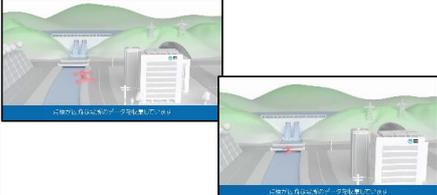
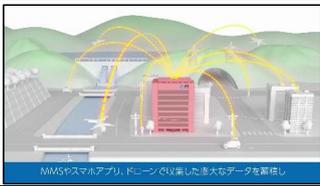
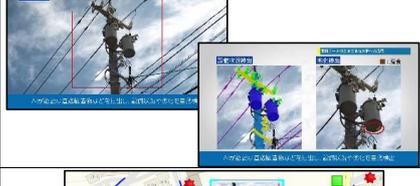


カット	イメージ	ナレーション&字幕																								
プロローグ (社会背景+ 課題訴求)		ナレーション&字幕																								
																										
1	CG: 街のイメージスクロールして空に表: 建設後50年を経過する社会資本の割合が入る	【Na】国土交通省によると、日本では、																								
2	 <table border="1" data-bbox="558 537 782 672"> <thead> <tr> <th>インフラ種別</th> <th>総数</th> <th>2023年</th> <th>2033年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路橋</td> <td>約13万橋</td> <td>約29%</td> <td>約63%</td> </tr> <tr> <td>トンネル</td> <td>約1万1千本</td> <td>約27%</td> <td>約42%</td> </tr> <tr> <td>河川(管理施設等)</td> <td>約11万施設</td> <td>約42%</td> <td>約62%</td> </tr> <tr> <td>下水管渠</td> <td>約472km</td> <td>約8%</td> <td>約21%</td> </tr> <tr> <td>港湾岸壁</td> <td>約5千施設</td> <td>約33%</td> <td>約58%</td> </tr> </tbody> </table> <p>インフラの老朽化はこの10年で一気に進行し</p>	インフラ種別	総数	2023年	2033年	道路橋	約13万橋	約29%	約63%	トンネル	約1万1千本	約27%	約42%	河川(管理施設等)	約11万施設	約42%	約62%	下水管渠	約472km	約8%	約21%	港湾岸壁	約5千施設	約33%	約58%	建設後50年を経過するなど インフラの老朽化はこの10年で一気に進行し 社会に与える影響が大きくなることが予想されています
インフラ種別	総数	2023年	2033年																							
道路橋	約13万橋	約29%	約63%																							
トンネル	約1万1千本	約27%	約42%																							
河川(管理施設等)	約11万施設	約42%	約62%																							
下水管渠	約472km	約8%	約21%																							
港湾岸壁	約5千施設	約33%	約58%																							
3	インフラ (電柱、通信管路、MH等)	【Na】 こうした事象は私たち、NTT西日本グループにとっても大きな課題です 通信インフラの課題解決に向けた私たちの取り組みをご紹介します																								
4	マルチ																									
インフラ設備のサイクル																										
5	インフラ設備のサイクルスペースに該当するビジュアル (静止画) ・運用: 電線 ・点検: 電柱の点検 ・修繕: 工事	【Na】 インフラの維持管理においては 運用、点検、修繕・更新をきれ目なく 効率よく行うことが必要です																								
6	インフラ設備のサイクルの中央にDX 文字	【Na】 私たちは、このサイクルの全てのフェーズで DXによる効率化を進めています																								
7	インフラ設備のサイクルの背景がCG: 街のイメージに乗り替わり	【Na】 NTT西日本グループが実施している具体的なDXの事例をご覧ください																								
データ取得～点検																										

8	DX と点検を結ぶ矢印の色が変わり強調		【Na】 まずは点検のフェーズです
9	CG：街のイメージ 街からzoomするとMMSが走っている ↓ MMSの走行する先に スマホを持った人がある		【Na】 MMS（モバイルマッピングシステム）や スマホアプリを活用してインフラデータを収集しています
10	MMS 走行シーン		【Na】 MMSは、走行するだけで 道路構造物をはじめとした、さまざまな空間情報を収集 必要なデータ取得が可能です
11	スマホでマンホールの 写真を撮る様子（実写）		【Na】 また、スマホアプリなどを活用して 当社社員が、さまざまな場面においてインフラデータを収集しています
12	スマホで投稿する様子（実写）		【Na】 また、スマホアプリなどを活用して 当社社員が、さまざまな場面においてインフラデータを収集しています
13	CG：街のイメージ 橋の近くの ドローンにzoom		【Na】 さらに、ドローンを活用することで 点検が困難な場所のデータを収集しています
14	ドローンによる 点検の様子		【Na】 橋梁添架設備や鉄塔など 従来は特殊車両などによる点検が行われていたものを ドローンによって効率化しています
診断→修繕			
15	CG： DX と修繕を結ぶ矢印の色が変わり強調		【Na】 点検で収集したデータを活用することで 修繕・更新のフェーズにおいてもDXを進めています

16	CG：街のイメージ 複数のMMSやドローン、スマホから 情報がNTTの建物に 飛ぶイメージ		【Na】 MMSやスマホアプリ、 ドローンで収集した膨大なデータを蓄積し
17	新撮 ドローン 診断オペレーター		蓄積されたデータをもとに解析・診断することで インフラの修繕や更新計画に反映しています
18	新撮 ドローン診断映像 新撮 ドローンのリモート診断 執務室遠景		
データ活用→運用			
19	CG：データが マッピングされつつ蓄積されるイメージ CG： DX と運用を結ぶ矢印の色が変わり強調		【Na】 さらに、インフラデータを地図上にマッピング 日々蓄積されたデータから、最新の状況をタイムリーに把握し 運用を行うことで、一連のサイクルを効率的に回しています
20	CG： インフラマルチ		【Na】 また、蓄積されたデータは、通信インフラだけでなく さまざまな分野において活用できます
21	市中のインフラ設備を抽出するイメージ		【Na】 例えば、集められた膨大なデータから
22	点検結果を抽出するイメージ		AI が必要な道路構造物などを抽出し、 設備状況や劣化を自動検出
23	点検結果をマッピングするイメージ		さらに、設置位置や点検結果などをマッピングすることで 台帳整備や、修繕・更新計画へのタイムリーな反映が可能です
24	スマホでマンホールの 写真を撮る様子 スマホでマンホールの 写真を撮る様子 アップ		【Na】 また、スマホアプリ等を活用して 地域の人々と連携したデータ収集を行うことにより
25	みんなスマホ投稿例をコラージュ		【Na】 街のインフラの課題をダイレクトに汲み取ることができます

<p>26</p>	<p>CG : 街のイメージに 「点検から診断まで ワンストップで対応」 「社外申請などの 一元管理」 「災害情報の可視化・ 共有化」の文字</p>		<p>【Na】 地域の皆さまとともに、さまざまなDXを進めることで 安心・安全なまちづくり スマートシティの実現に一緒に取り組んでいきましょう</p>
	<p>ロゴ : NTT西日本</p>		